

生活に文化が薫るまちづくり

H25年7月25日(木)

倉敷市芸文館

【主なご意見】

- 畳文化・い草のことを知らない子どもたちが多いので、伝承する機会をつくりたい。
- 使用する人のため長く使えるものづくりをしている。全国に発信していきたい。
- 常設で倉敷の文化が感じられるように、例えば、駅の店舗で実際に本物に触れる(使ってみる)機会があれば良いと思う。
- 倉敷の高尚な魅力ある文化を紹介したい。市民の方々ももっと住んでいる町のことを知って、市外世界にPRしてほしい。
- 暮らしの中で楽しみながら、より豊かに生活できることを大切にしたい。情報発信の方法の工夫が必要だと思う。
- 屋内だと限られた人しか観賞できないので、児島駅前の野外ステージを利用して音楽活動をするなどし、まちを活性化させたい。
- 若い人たちには、まずは五感を刺激するような体験が必要。異年齢集団の交流も大切。
- 観光客の64%は下調べしてくる。児島駅にジーンズを使ったアートを展示してはどうか？
- 市立美術館全館の展覧会をしたい。照明が暗いところがあるので直していただきたい。
- 食文化を大切に考えている。食べるものを豊かにすれば、全て豊かになる。
- 子供たちに尺八を教えることを通して、まずは礼儀作法から教えている。
- 公民館講座が少なくなっている。文化系の公民館講座をもっと増やしてほしい。
- 山田方谷・三島中洲・川田甕江など郷土の偉人を広めたい。
- 中学校の文化部が廃れないように老人会の方に講師にきてもらったらどうか。日本文化を習うことは礼儀作法も身に付けられるので、文化を通して教育もできればと思う。
- 美術協会に若手がないので、そういった意味からも文化に貢献できるようにしたい。
- 自分たちの活動において、気軽に市・行政に相談に行けるような場があればと思う。
- 真備の書道家の井上桂園先生を全国に発信してほしい。
- ここに行けば毎日音楽を聞くことができるという場所があればと思う。